

PrimeDrive Release Note

2015年10月25日リリース

ソフトバンク株式会社
クラウドプロダクト統括部
2015年10月16日

 SoftBank

【1. コーポレート管理者機能】

1.1 ユーザのホーム下にあるデータを期限管理する機能の追加
(ホーム期限設定)

1.2 英大文字・小文字を区別せず検索する機能の追加

【2. 一般ユーザ機能】

2.1 PDF取得時の中国語への対応(PDF変換)

2.2 グループ編集でのユーザ検索画面で、グループ名の英大文字・小文字の
区別をしないように変更

2.3 グループ検索画面表示時に自動検索をしないように変更

2.4 回収キーアップロードでアップロード側のタイムゾーンもUTC形式で追記表
示するように変更

3. リリース機能 (iPad/iPhone機能)

【3. iPad/iPhone機能】

新規の機能追加はありません。

現在、公開しているiOSアプリは不具合修正版となります。

詳細につきましては、当社ホームページの案内をご参照ください。

<http://tm.softbank.jp/business/primedrive/info/>

※現在のPrimeDriveアプリのバージョンは「2.6」になります。

※iOS6.xのサポートは終了しております(iOS7.0以上が必要です)

iOS6以下の端末をお使いの場合は、PrimeDriveアプリのバージョン「2.3」をご利用いただくことが可能です。

4. リリース機能 (DTA機能)

【4. DTA機能】

新規の機能追加はありません。

【4. システム機能】

4.1 パフォーマンス改善の実施

4.2 PDF変換の中国語対応

【5. 不具合修正】

5.1 送付キー複数発行時、削除済みファイルの送付キーが無効な送付キー表示にならない不具合を修正

5.2 何も権限のない共有フォルダを作成することができてしまう不具合を修正

5.3 Safari (iPad) で、送付キーPDFダウンロード時に通信エラーが発生する不具合を修正

【1. コーポレート管理者機能】

1.1 ホーム期限設定機能の追加①

- ユーザのホームフォルダ全体をファイル期限削除対象とすることができます。
- ユーザが個別で行うファイル期限削除と異なり、フォルダの削除も行えます。
- ホーム期限設定を利用すると、ゴミ箱内のデータも削除期限対象となります。
(ファイルが自動削除されると同時にゴミ箱内のデータも削除されます)

<設定の流れ>

①コーポレートポリシーで期限設定を行います。(※画面は案です)

ホーム期限設定

ホーム期限設定: 利用する 利用しない

保存済みデータへ適用: 適用する 適用しない

保存済みデータへ適用について: 「適用する」場合
・期限設定を行った時点で更新日時が古いデータ(期限日数を経過したデータ)は削除されてしまいます。
予期せず重要なデータが削除されてしまう可能性があるため、事前にバックアップなどの対応を行ってください。

「適用しない」場合
・指定するユーザーIDに保存されたデータがある限り、本機能の設定は行えません。
※空のフォルダは対象外となります。

期限設定する対象: ファイルのみ フォルダとファイル

期限設定日数:

削除予告メールを通知する: 通知する 通知しない

②ユーザポリシー編集画面で、「利用する／利用しない」を設定します。

ホーム期限設定

ホーム期限設定: 利用する 利用しない

1.1 ホーム期限設定機能の追加②

【ホーム期限設定の注意事項】

- ファイルの自動削除は、ファイルの最終更新日を起算として「期限設定日数」を経過したものが削除対象となります。
- 本設定をONにしてからの経過日数ではありませんのでご注意ください。
例えば、古い更新日のファイルを多く所有しているユーザの場合、この設定を有効にすると猶予なく(1日以内に)削除が実行され、過去のファイルが一度に失われることがあります。
明確に全ユーザを対象とする運用でない場合は、「許可しない」をデフォルトに設定しておくことを推奨します。
- ユーザインポート機能には対応していません。
新規にユーザインポートを行っても、ホーム期限設定はOFFの状態に登録します。

1.2 英大文字・小文字を区別せず検索する

下記画面で検索する時に、大文字・小文字を区別せず検索できるようになりました。

<ユーザ検索画面>

- ・氏名、ふりがな、メールアドレス、検索条件指定時のグループ名

<グループ編集画面>

- ・メンバ名

<グループ編集のユーザ選択画面>

- ・ユーザID、氏名

<グループ編集のグループ選択画面>

- ・グループ名

また、検索が行える画面を表示した際の自動検索は行わないように変更しました。全検索を行う場合は、“検索ボタン”をクリックしてください。

【2. 一般ユーザ機能】

2.1 PDF取得時の中国語への対応(PDF変換)

- ・中国語が含まれるMS OfficeファイルのPDF取得、閲覧時に、中国語が表示されるようになりました。(PDF変換の中国語対応)
- ※一部返還できない文字もあります。

下記画面で検索する時に、大文字・小文字を区別せず検索できるようになりました。

＜共有設定、プライベートグループ編集画面＞

- ・グループ名

＜共有設定のグループ編集選択画面＞

- ・メンバ名

また、検索が行える画面を表示した際の自動検索は行わないように変更しました。
全検索を行う場合は、“検索ボタン”をクリックしてください。